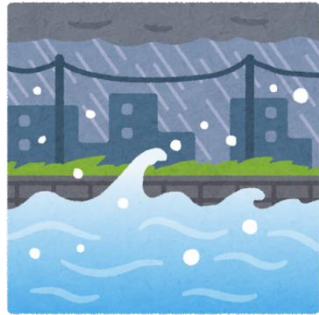


# 上田長野地域の水道事業広域化について

～将来にわたって「安心・安全な水を安定的に供給し続ける」ために～  
上田市・坂城町・千曲市・長野市・県企業局では水道事業の広域化を検討しています！

## 水道事業の現状と課題 ～個々の事業体で水道事業を実施していくとこんなことが課題に～

### 危機管理対策



近年多発する大規模災害や渇水時等  
緊急時のバックアップ体制が必要に!!

### 水道施設等の 老朽化と耐震性不足



配水管の法定耐用年数はおよそ40年。  
管路や水道施設の耐震化も必要です。  
管路はおよそ15%、施設はおよそ50%  
しか耐震化が進んでいません。

### 施設や管路の整備



### 人口減少に伴う給水人口、 水の使用量の減少



### 水道料金

今後50年間で人口は現在の約6割に。  
人口が減少傾向にあるため、使用する  
水の量が確実に減ります。  
そのため、水道施設等を維持整備する  
ための資金(料金収入)が減り、  
水道料金の値上げが必要になります。

人口減少や高齢化により  
労働力も不足します。



### 水道事業に携わる 専門人材の不足

### 水道事業に携わる人材

## 広域化(事業統合)すると国からの補助金を活用してこんなことができるようになります！

### 千曲川右岸に 送水管を新たに 設置して2重化

赤線部分(千曲川右岸)に新  
たに送水管を整備します。  
送水管を2重にする整備は  
莫大な資金が必要となりま  
すが、国からの補助金を受け  
ることで負担を抑えて整備す  
ることが可能となります。

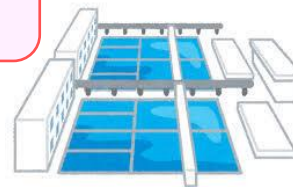
送水幹線を2重にすることによって緊急時でも  
水道供給ができるように強化します。



配水池や浄水場、  
水道管などの水道設備の  
更新や耐震化が  
できるようになります。



### 浄水場



水道料金の値上げの  
幅を小さくし、将来を  
担う子供たちの負担を  
減らします。

将来

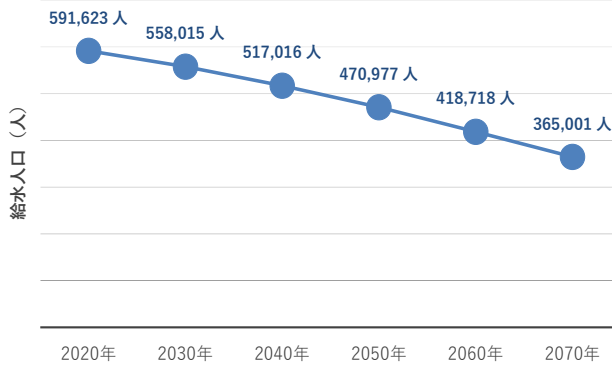


水道事業に携わる  
専門人材の育成・確保  
が進むようになります

人口減少に伴う水需要の減少、施設の老朽化、深刻化する人材不足など、水道を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした水道の直面する課題に対応し、水道事業の基盤強化等を国庫補助金により進め事業統合を図ると財政的な効果が得られる結果が出ています。

## 給水人口の減少

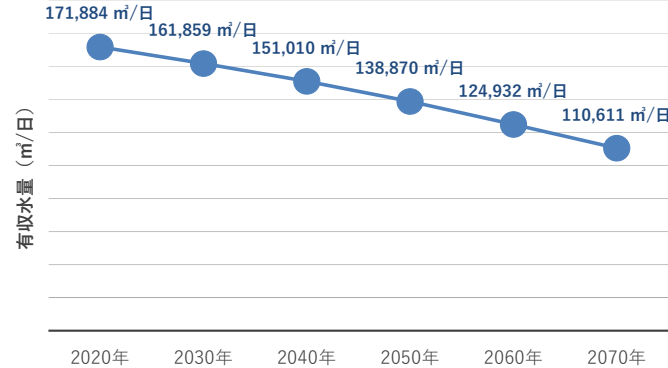
### 1) 給水人口の推移 (上田市・千曲市・長野市・県企業局4事業合計)



給水人口は令和2年度（2020年度）と比較して**50年間で38%減少**する見込み  
○坂城町は県企業局に含む

## 有収水量※の減少

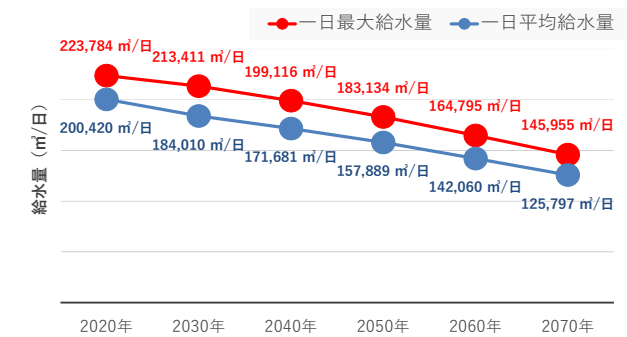
### 2) 有収水量の推移 (上田市・千曲市・長野市・県企業局4事業合計)



有収水量は令和2年度（2020年度）と比較して**50年間で36%減少**する見込み  
※有収水量とは蛇口から出た水のこと

## 給水量の減少

### 3) 給水量の推移 (上田市・千曲市・長野市・県企業局4事業合計)



一日平均給水量は令和2年度（2020年度）と比較して**50年間で37%減少**する見込み  
一日最大給水量は令和2年度（2020年度）と比較して**50年間で35%減少**する見込み

## 広域化による財政的な効果（事業統合し、国からの補助金を活用して水道施設の整備等を進めると、以下のような財政効果があります）

財政シミュレーションの結果、地域全体で、およそ50年間に**669億円**の住民等の料金負担軽減を図ることが可能であり、仮に令和19年度に料金統一した場合、その後は事業統合の供給単価が最も低くなる結果が得られます。（坂城町は企業局に含む）

	①給水戸数 (R7~R52 平均)	②広域化の効果 (R7~R52 合計)	③一戸当たりの効果 (※) (②÷①÷46年間)
長野市	145,322戸	467億円	6,994円/戸/年
千曲市	17,216戸	71億円	8,947円/戸/年
坂城町	4,275戸	12億円	5,982円/戸/年
上田市	60,112戸	119億円	4,310円/戸/年
合計	226,925戸	<b>669億円</b>	6,412円/戸/年

※企業局給水区域の効果を、各市町に配分した場合の市町別効果

